

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 24 年 6 月 9 日現在

機関番号：32508

研究種目：基盤研究(c)

研究期間：2009～2011

課題番号：21530903

研究課題名（和文）中国における高等教育の国際競争力強化体制—その構造と日本への含意

研究課題名（英文）Chinese Policies to Enhance Competitiveness of Higher Education:
Their Structure and Implications to Japan

研究代表者

苑 復傑 (YUAN FUJIE)

放送大学・ICT活用・遠隔教育センター・教授

研究者番号：80249929

研究成果の概要（和文）：

21世紀に入って中国政府は高等教育機関の国際競争力強化、および留学生の送り出し、受け入れに大胆な政策をとってきた。本研究は、そうした競争力強化のための国際化政策の全容を構造的に整理するとともに、中国の世界の留学生交流にしめる位置の変化を分析し、さらに個別大学のレベルでそれが、どのような影響を与えたかを分析した。またこうした中国の変化は、日本の高等教育に対する含意を論じた。

研究成果の概要（英文）：

Since the turn of the centuries, Chinese higher education started its bold attempts to enter the arena of international competition in academic research and education. This study attempted to: (1) delineate the structure of these government policies through analyses of documents as well as interviews with responsible policy makers, (2) evaluate the changes in the role of China in the global student movement, and (3) analyze how individual institutions adopted and acted on these policy changes, and what their consequences are. I concluded that these policies rendered a tremendous transformation in Chinese higher education institutions, but there are significant problems created through this rapid change. I also argued that Japanese higher education is faced with a significant challenge to match up with the Chinese transformation.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	1,300,000	390,000	1,690,000
2010年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2011年度	1,000,000	300,000	1,300,000
総計	3,300,000	990,000	4,290,000

研究分野：教育学

科研費の分科・細目：教育社会学、教育経済学

キーワード：高等教育政策、国際競争力、グローバル化、国際化戦略、人材戦略、情報化戦略、重点学科建設、公開教育資源

1. 研究開始当初の背景

20世紀末に急速な経済成長を軌道にのせた中国において、次の経済発展への道は国内における科学技術の発展に求めるしかない。そうした観点から中国の高等教育は、一方において大衆化を進めながら、他方で中核となる研究大学の国際水準への到達（世界一流大学建設）を目的として様々な改革を推進してきた。具体的には大胆な市場化戦略、人材誘致戦略、財政の傾斜配分による高度化戦略がとられてきた。同時に、留学生の送り出し、受け入れ人数の飛躍的な増加による国際化が図られてきた。そうした中国の高等教育の国際競争力の強化政策の全容とその帰結、またそれによる中国高等教育の国際的な地位の変化を構造的にとらえることは、現代中国の経済社会発展の構造を理解するとともに、日本の高等教育政策にも重要な意義をもっている。

2. 研究の目的

上述のように、20世紀末から21世紀初頭にかけて、中国政府は高等教育機関の国際競争力強化にきわめて大胆な政策をとってきた。本研究は、そうした政策を包括的にとらえるとともに、それらの政策が個別大学の段階でどのように受け取られ、それがどのような帰結を生んできたか、またそれが国際的な留学生交流の中での地位にどのような変化を与えてきたか、を明らかにすることを目的とする。

3. 研究の方法

以上の目的にしたがって、本研究は以下の三つの方法で研究を進めた。

第一に、中国が等教育の質的向上を目指す政策をどのように行ってきたのかを明らかにするために、高等教育に関連する政策文書、研究文献、関連統計などの収集と分析を行い、さらに主要な教育部の行政官にインタビュ

ーをおこなった。並行して、欧米・日本での高等教育政策の分析もおこなった。

第二に、積極的な留学政策が、アジア圏の高等教育における中国の位置にどのような影響を与えているかを、OECD、および各国の留学生の受け入れ、送り出しのデータを組み合わせることによって分析した。

第三に、こうした政策が、個別大学においてどのような影響を与えているかを、関係する文書の収集、分析、主要大学の幹部教員、一般教職員へのインタビューなどを通じて行った。

4. 研究成果

中国の高等教育は1980年代から90年代までは近代的な大学制度の確立にむかっていた。制度的整備を課題としてきたが、1990年代末から、一気にその高等教育機関を国際的な水準におしあげる野心的な政策をとった。

そうした動きは、「高水準大学建設のための国家公費派遣大学院生の学費援助方法2009」、「中国留学計画2010」、「中長期国家教育改革・発展要綱2010-2020」、「教育情報化10年計画2011-2020」などの政策文書にあらわれている。これらは中国の高等教育政策の骨格を理解するための基本文献であることにかんがみ、研究代表者は重要政策を日本語に翻訳し、研究代表者のホームページに公開した。また日本の関連学会、国際関係学会で研究発表を行い、研究論文を執筆した。

こうした国際競争力強化政策は、具体的には、①優秀な人材の養成と誘致、特に外国に留学した優秀な研究者の呼び戻し、優遇政策、②学部・学科ごとの研究能力の育成、それに関連する財政インセンティブ、③インフラ整備、を主な手段としている。

こうした高度化政策と表裏をなすのが、積極的な留学政策である。中国は、21世紀にはいって、研究水準の高度化のために、先進国の主要大学に積極的に留学生を派遣する政

策を始めた。また各国からの留学生の受け入れについても、各大学での留学生受け入れを支援する政策をとった。また外国大学との連携による大学の設置、プログラムの共同運営についても積極的に進めている。

こうした政策を通じて、世界の留学生交流に占める中国の地位はきわめて大きくなっている。

こうした進展の結果、個別大学における人事制度、管理運営、教育研究活動などの領域で、国際競争力強化体制の構築に大幅な進展がみられた。しかし他方では極端な競争主義による深刻な問題も生じており、大学における拝金主義、拝権力主義の行動がマスメディアによって報道され、大学の文化的・社会的な使命そのものが危機にあるという批判も少なくないことも確認された。

そうしたことから中国では再び高等教育の公開性や機会の公平が重視されるに至っており、一部の研究大学の強化だけでなく、教育機会の拡大や教育資源の開放、教育の質の一般的な高度化が目指されている。

また日本との関係でいえば、中国の急速な地位の変化にたいして日本の高等教育機関の対応が立ち遅れている傾向が指摘できる。日本の高等教育はこうした動きに積極的に対応することが求められる。それを通じて、東アジア域内の高等教育交流を推進することが東アジア全体の発展の観点からも重要な課題となっている。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計2件)

① YUAN, Fujie “Application and International Comparison of ICT in Japanese University ” Open University Education Research Forum of China, Japan and South Korea: The Open University of China, 2011

<http://www.crtvu.edu.cn/ddsx/file.php?id=126150pen>

② 苑復傑 「グローバル化時代における留学

と留学生政策」『桜美林高等教育研究』第2号 31-42 (2010)

[学会発表] (計9件)

① YUAN, Fujie Application and International Comparison of ICT in Japanese University ”Open University Education Research Forum of China, Japan and South Korea: The Open University of China 2011

② 苑復傑 「日本の大学における ICT 活用—国際比較の視点—」、「第5回 日中高等教育フォーラム」日本高等教育学会 (2011.9.9) 中国大連理工大学

③ Yuan, Fujie “ICT Application in Japanese Higher Education”, International Symposium on ICT Applications in Higher Education in Japan and Francophone Countries. (2011.01.07) at Tohoku University

④ 苑復傑 「グローバル化時代における留学と留学生政策—東アジアの視点から—」日本比較教育学会(2010.06.27)神戸大学。

⑤ 苑復傑 「東アジアにおける留学」中日教育研究協会創立大会・フォーラム。(2010.4.25)中国日本駐在大使館

⑥ 苑復傑 「東アジアの留学生政策及び中国私立大学への影響」第4回私立大学教育発展国際シンポジウム(2010.04.23) 中国浙江樹人大学

⑦ 苑復傑 「東アジア学生交流圏の可能性」高等教育ワークショップ 東アジアの高等教育 (2010.03.19) 東京大学 大学経営政策研究センター

⑧ 苑復傑 「グローバル化の中の留学」、「第4回 日中高等教育フォーラム」日本高等教育学会(2009.11.30)東京大学教育学部。

⑨ 苑復傑 「ICTを活用した大学教育—世界の動向と日本の課題—」、「シンポジウム世界からのまなざし・世界へのまなざし—現代世界と中国語の未来—」(2009.09.26) 成蹊大学

[図書] (計2件)

① 中川一史・苑復傑 放送大学教育振興会 『メディアと学校教育』2012 出版決定 pp. 25-80

②苑復傑 東信堂『比較教育学事典』「バーチャル大学」、「私費外国人留学生統一試験」、遠隔教育」、「e-ラーニング」など (2012)

〔その他〕

ホームページ情報

www.code.ouj.ac.jp/research/fujie/

6. 研究組織

(1) 研究代表者

苑 復傑 (YUAN FUJIE)

放送大学・ICT 活用・遠隔教育センター・
教授

研究者番号：80249929